

下水道等事業会計決算

(1) 下水道等事業会計決算額

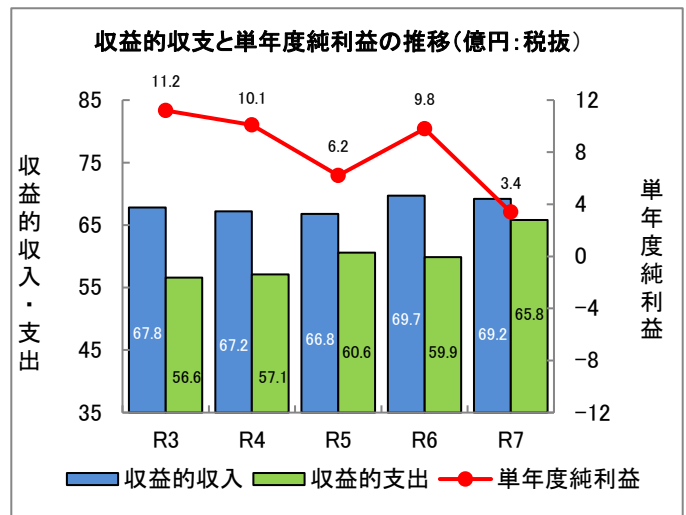
	収入決算額		支出決算額		差引額	(単位：億円)
収益的収支	69.2	－	65.8	=	3.4	【税抜】
資本的収支	15.5	－	29.2	=	△13.7	【税込】

(2) 収益的収支の状況

令和7年度の収益的収支の総収益は69.2億円で前年度に比べ0.5億円の減少となりました。これは、前年度の流域下水道負担金の還付額の減により過年度損益修正益が減少したことなどによるものです。

また、総費用は65.8億円で5.9億円の増加となりました。これは、過年度損益修正損や流域下水道管理費が増加したことなどによるものです。

この結果、当年度純利益3.4億円の黒字決算となりました。

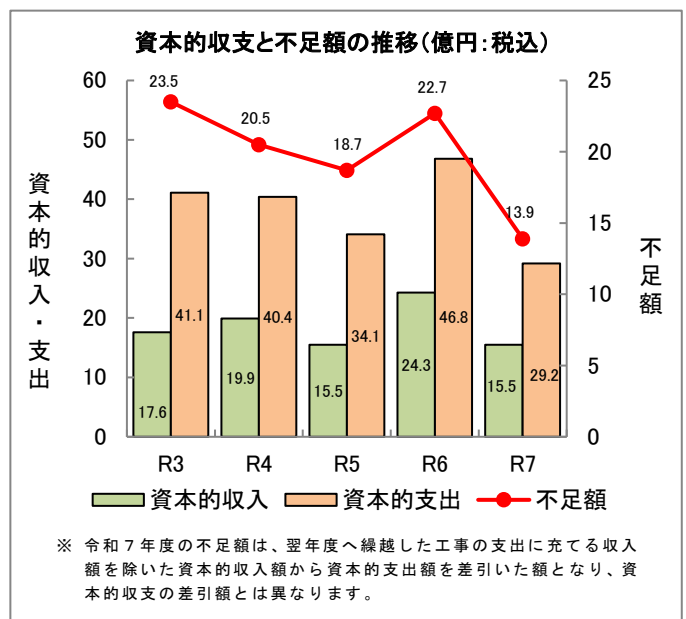


(3) 資本的収支の状況

令和7年度の資本的収支の収入は、令和8年度へ繰り越される支出の財源に充当する額0.2億円を含め15.5億円で前年度に比べ8.8億円の減少となりました。これは、補助金や企業債が減少したことなどによるものです。

また、支出は29.2億円で17.6億円の減少となりました。これは、建設改良費や企業債償還金が減少したことによるものです。

この結果、令和7年度の資本的収入から0.2億円を除いた額から資本的支出を差引いた資本的収支不足額が13.9億円となりました。この不足額は当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。



(4) 企業債残高の状況

令和7年度は企業債10.6億円を借入れ、13.0億円を償還したことにより、企業債残高は195.4億円となりました。

近年、償還額に対して借入額が少なくなっていることから、企業債残高は毎年度減少しています。

